

会議録概要

会議の名称	平成28年度第2回久喜市立図書館協議会
開催年月日	平成29年1月30日（月曜日）
開始・終了時刻	午前10時00分から午前11時45分
開催場所	中央図書館視聴覚室
議長氏名	塩崎勲（協議会会長）
出席委員（者）氏名	塩崎勲・及川孝之・横内美沙代・奈良千鶴・松本秀樹・塚越要・野原正子
欠席委員（者）氏名	山中今日子・丸山洋一・千葉香乎里
説明者の職氏名	太田中央図書館長 河内鷲宮図書館長 須賀菖蒲図書館長 森岡中央図書館管理係長 飯田中央図書館奉仕係長
事務局職員の職氏名	関根教育部長 太田中央図書館長 河内鷲宮図書館長 須賀菖蒲図書館長 森岡中央 図書館 管理係長 飯田中央図書館奉仕係長 杉田栗橋文化会館図書室担当主査
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）久喜市図書館サービス基本計画について（報告） （2）平成28年度事業経過報告について （3）その他 4 閉 会
配付資料	平成28年度第2回久喜市立図書館協議会次第 1 図書館サービス基本計画の数値目標について 2 平成28年度久喜市立図書館利用者アンケート結果 3 平成28年度事業中間報告 4 アンケート結果差し替え
会議の公開又は非公開	公 開
傍聴人数	0人

様式第2号（第5条関係）

発 言 者	会議のてん末・概要
司会（太田中央館長）	<p>皆様おはようございます。本日は、お忙しいところ、早朝より久喜市立図書館協議会にご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、第2回久喜市立図書館協議会を開催します。</p> <p>開会に先立ちまして、現在の出席委員につきまして、ご報告申し上げます。委員10人中、出席委員7人でございます。本協議会は、久喜市立図書館協議会運営規則第3条第2項「協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」の規定により成立いたしますことをご報告申し上げます。</p> <p>議事に入る前に配付させていただきました資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日お配りしました平成28年度第2回久喜市立図書館協議会次第、『図書館サービス基本計画』の数値目標について、数値が抜けていたところがあるのでアンケート結果の差し替えをお願いします。アンケート結果の12ページになります。それから先に送付させていただきました、平成28年度久喜市立図書館利用者アンケート結果、平成28年度事業中間報告についてでございます。</p> <p>不足の資料はございませんでしょうか。ある場合は、お申し出いただきたいと存じます。</p>
司会（太田中央館長）	開会にあたりまして、関根教育部長からご挨拶を申し上げます。
関根教育部長	挨拶 ー省略ー
司会（太田中央館長）	ありがとうございました。続きまして、塩崎会長ご挨拶をお願いいたします。
会長（塩崎委員）	挨拶 ー省略ー
司会（太田中央館長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入る前に、本日の会議の記録のためにテープへの録音をご了承いただきたいと存じます。これより議事に入らせていただきます。久喜市立図書館協議会運営規則第3条第1項によりまして、塩崎会長に議長になっていただき、議事進行をお願いしたいと思います。宜しく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>ご指名をいただきましたので、図書館協議会の議事進行を務めさせていただきます。円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>早速ですが、議事進行に入らせていただきます。議題（1）久喜市図書館サービス基本計画について（報告）を議題とします。事務局より内容の説明をお願いいたします。</p>
事務局（飯田中央奉仕係長）	<p>おはようございます。中央図書館の飯田と申します。久喜市図書館サービス基本計画について話をさせていただきます。</p> <p>久喜市図書館サービス基本計画につきましては、当初5か年の計画ということで、ピンク色の冊子になりますが、こちらをもとに図書館運営を進めております。この5か年計画ということで、今の時期は計画を検討する時期となりますが、本計画には図書館サービスの理念とそれを実現するための基本的な内容をまとめておりますので、大枠が変わるものではありません。そのため、今後もこの計画を継続していきたいと考えております。</p> <p>このようなかたちをとらせていただきましたのは、今年度東京理科大学の跡地を活用し子ども図書館を開設する市としての方針が示されましたので、新しいサービス基本計画には子ども図書館についての考え方をぜひ盛り込みたいと考えております。しかしながら、子ども図書館の話が具体的に出てきましたのが、昨年秋くらいでしたので、子ども図書館のビジョンが明確になっていない状態でございます。そのため、現在の状態では、サービス基本計画に子ども図書館の内容を組み込むことができません。そのような意味からも現在のサービス基本計画を継続することで図書館運営をしていきたいと考えておりますのでその報告をさせていただきます。</p>

<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>この延長にあたりましては、どの程度延長するのかとの考えがあるかと思ひます。 子ども図書館につきましては、平成32年4月に開館予定で計画が進んでいるところ でございます。図書館としてもそれに向けた準備を進めるとなると、タイミング的 にあと2年は子ども図書館に対するビジョンが固まるまでに時間がかかると思 われます。そのため2年間は今の計画を継続させていただきまして、新しいサー ビス基本計画を策定し始めるのが、平成30年度になるのではないかと推測して おりますので、2年間継続していきたいと思っております。ご理解いただければ と思ひます。 今年度、5か年の節目になりましたので、図書館利用者の方にアンケートを 実施させていただきました。現在のサービス基本計画が発行されたのが平成24 年5月になります。その1年前から準備をしておりましたので、この計画を作 った時点では、平成22年度にアンケートを実施しまして平成23年度に実績と してどの程度の利用があったとか貸出しがあったとかの数値をこの中に盛り 込んでおります。そのため今回事前にお配りした資料につきましては、平成28 年度に行いましたアンケートの結果をまとめておりますが、本日新たにお配り しました、資料につきましては現在進行しているサービス基本計画であげて いる数値目標と比較したもので、皆様にお配りしております。アンケートの 数値は細かくなっておりますので、全体像を把握していただくことが難しい ので、サービス基本計画の内容と照らし、ポイントとなる部分を3枚にまとめ たものを本日お配りしておりますので、こちらに沿って説明させていただきます。</p>
<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>図書館サービス基本計画の数値目標についてをご覧ください。こちらの資料 には、基本目標1から基本目標6まであげさせていただいております。基本目 標を実現させていくために、施策を鋭意進めていくことで数値目標を達成し ていく考えで作られたものです。 それでは、基本目標1 市民生活や地域を豊かにするための知識と情報を提 供する図書館を目指す、施策1としては、レファレンスと課題解決型サービ スの充実、数値目標としては、レファレンスに対する満足度となっております。 レファレンスとは調べもののお手伝いに関することとなります。平成22年 度の時点では、アンケート結果37.5%の方に満足いただいている回答を いただきました。その右側ですが、目標値としては、平成28年度までに 10%増ということで、基本計画のなかで10%増を目指すことをして おりました。そのため47.5%を目指すこととなりますが、平成28年度 実施したアンケートによりまして51.9%の方に満足いただいている回答 をいただきました。約半数の方に満足いただいておりますので、今後も 継続していきたいと思っております。 次に基本目標2 小中学校図書館と連携し、児童生徒の読書や学習を 支援する図書館を目指す、施策2として小中学校図書館との連携機能 強化と学校や教職員への支援、数値目標として学校への団体貸出冊数、 学校訪問事業実施学校数となっております。平成22年度の実績とし まして、団体貸出は445冊、平成28年度までに50%増を目指して おりましたので、670冊になりますが、平成27年度の実績で770冊の 貸出になりました。こちらにつきましても、目標値を上回っていること でございます。こちらは毎年波がありまして、この制度を知っている 先生はご利用くださりますが、先生が変わってしまった場合、団体 貸出の制度を知らない場合がありますので、年度によって変動があり ます。今後はそのようなことがないように周知していきたいと思 っております。次に学校訪問事業実施学校数ですが、平成22年度 の実績として11校ございました。目標としましては、市内の 小学校20校をあげていましたが、平成27年度の実績としましては、 13校にとどまっております。こちらにつきましては、久喜地区の 小学校には、中央図書館の職員が行っておりまして、10校 すべてを行っております。その他の地区につきましては、 栗橋図書室で3校に訪問することができております。学校 図書館を訪問することでブックトークといって本の紹介を テーマに沿って行っております。</p>

<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>次に基本目標3 高度情報化に対応した図書館を目指す、施策3として情報通信技術を導入した高度な情報提供の推進でインターネット閲覧可能パソコン数を数値目標としてあげておりました。平成23年度の実績が0台で平成28年度までに8台の目標をあげていましたが、実際平成27年度実績としましては、0台で変化がない状態でした。こちらにつきましては、セキュリティ問題などクリアすべきことが多かったため、実績があげられていない状態でございます。</p> <p>基本目標の4に移ります。ネットワークによる機能的なサービスを提供する図書館を目指す、施策4として図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備で予約件数を数値目標としてあげておりました。予約件数が平成22年度で18,086件となっております。こちらの目標としましては、平成28年度までに20%増として21,700件を目指しておりました。こちらはすごい数値になっておまして、平成27年度実績として68,271件となりました。大きな理由がありまして、平成22年度は合併の時期でありまして、システムの連携もありませんでした。資料の相互利用もありませんでした。現在はスムーズに利用ができていることだと考えられます。また、事前に配付しています資料の7ページの下の段になりますが、インターネット蔵書検索・予約ですが、平成27年度のインターネット予約の実績が37,300件になっており、先ほどお知らせした件数の半数以上がインターネットでの予約が占めております。気軽に予約ができるようになっております。</p>
<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>次に基本目標の5 すべての市民にとって利用しやすい図書館を目指す、施策5としてさまざまな利用者に対応したサービスの充実で人口一人当たりの貸出冊数、おはなし会参加者を数値目標としてあげております。平成22年度の実績4,36冊でしたが、平成27年度の実績として5,16冊まであげることができて目標が達成できました。こちらは、貸出冊数の制限をなくしていることが大きな理由と考えております。また、おはなし会参加者数ですが、平成22年度の実績は3,022人でしたが、平成28年度までに3,300人まで増やすことを目指しておりましたが、平成27年度の実績として3,785人になりこちらも目標を達成することができました。各館での取り組みの工夫やブックスタートでの事業周知の結果が現れているのではないかと考えております。</p> <p>最後に基本目標6 効果的・効率的により良いサービスを提供する図書館を目指す、施策6として市民ニーズに応じた効果的・効率的図書館運営として数値目標に図書館職員に占める司書の割合が数値目標としてあげられております。平成23年度の実績として52.6%でしたが、平成28年度までに60%を目指すようになっておりましたが、平成28年度の実績としまして、50%となっております。これにつきましては、人事異動がありますので、数値を維持していくことが難しいのではないかと考えております。</p> <p>数値目標についてお示しさせていただきました。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>何か数値目標で質問はありますでしょうか。</p>
<p>横内委員</p>	<p>よろしいでしょうか。基本目標4の実績68,271件のうちインターネットでは37,300件と説明をしていただいたのですが、その他の予約方法はどのようなものがあるのでしょうか。</p>
<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>はい。その他の予約方法は基本的に窓口で受付けている方法になります。たとえば、県立図書館では電話での予約も受付けているのですが、電話ですと間違いが起きやすいということもありますので、窓口で予約を受付けています。</p>
<p>横内委員</p>	<p>何か窓口で予約票などがあるのですか。</p>
<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>はい。少しお手間を取らせてしまいますが、予約票にご記入をお願いしています。</p>
<p>横内委員</p>	<p>私はインターネットでよく利用しているのですが、届いたらメールで連絡をいただきますが、窓口でも電話とかメールとかで連絡をいただけるのですか。</p>
<p>事務局（飯田中央 奉仕係長）</p>	<p>ご記入いただく予約票に連絡方法を選んでいただくようになっています。インターネットで予約をしていただくのにパスワードが必要になっています。そのパスワードをお持ちの方は、ご自分でメールアドレスを登録することができるようになっています。メールアドレスは、間違いやすいものなので、自分で登録をいただいています。登録さえしていただければ、窓口でも予約を受けております。</p>

横内委員	ありがとうございました。
議長（会長）	他はいかがでしょうか。
奈良委員	よろしいでしょうか。委員の奈良と申します。宜しくお願いします。 基本目標2の小中学校との連携のところで、770冊という目標値をすごく上回っていてすごいと思ったのですが、その中で、職員さんが主に小学校に行って、ブックトークとか読み聞かせとかをしているので、数字が上がっているのかなと思うのですが、ボランティアさんなどの力も借りているのかなと思うのですが。栗橋は職員さんと読み聞かせをしているボランティアさんがいっしょに行って、見学をして、ボランティアさんもゆくゆくは活動できるようにと行かせてもらっています。職員さんばかりの負担でなく、他の理由でできていないところは、ボランティアさんといっしょに行くように、今後できるようになるといいなと思うのですが。
議長（会長）	事務局、いかがでしょうか。
事務局（飯田中央奉仕係長）	そのとおりだと考えています。現在、図書館で回らせていただいている小学校ですが、授業の一コマをいただいて授業の一環として実施させていただいている状況です。授業の一環という側面があるので、職員が関わりながら実施するというのを自主事業として考えています。ただ、職員だけで行うことが負担になっていることから、もっと広げていくためには、そのような活動を行いたい方と組みながら、効率的な運営に努める必要があると考えています。
奈良委員	あと一つあるのですが、鷲宮さんや菖蒲さんなどで、できない理由は学校側にあるのですか。一時間という時間をいただくので、なかなか時間が取れないといったことがあるのですか。
事務局（飯田中央奉仕係長）	今のところ、授業の一コマをもらっているので、職員が必ず出るように考えています。鷲宮や菖蒲の職員体制は、正規の職員が2～3名しかおられませんので、学校に訪問すると半日かかってしまうので、職員体制で困難であると考えています。ただ、この後菖蒲の須賀館長から話をしてもらおうとありがたいのですが、学校には訪問できないのですが、菖蒲図書館内でブックトークを今後進めていく予定があるようなので、できることから進めていければと思っています。
塚越委員	少しよろしいでしょうか。今、菖蒲の話が出ましたので、菖蒲東小学校の塚越と申します。図書館からは今まで、授業としてお越しいただいてはいないのですが、ボランティアの方で授業一時間を使って行っていただいております。図書館としての事業の実績ではありませんが、今後ということなのかなと思いました。
事務局（太田中央館長）	今の確認ですが、ブックトークという形でしょうか。読み聞かせでしょうか。
塚越委員	読み聞かせ的ですね。

事務局（太田中央館長）	<p>読み聞かせとブックトークが違う面がございますので、主にブックトークとは、本の紹介を一つのテーマに沿って行うもので、相当なテクニックや経験が必要になります。読み聞かせならば、極端な話、徹夜をして何回か読んで感情を込めて読むことはできるのですが、ブックトークですと一つのテーマ「戦争」や「平和」や「新美南吉」「椋鳩十」など教科書に出てくるような作者やテーマに沿って、関連する本を紹介していくと、この本を読みたいという気持ちにつながるため、テクニックや経験が必要になってきます。それを養成するためには、結構訓練が必要になってきます。そうするとなかなかボランティアさんだけで行っていただくには、難しい訳になります。ある一定の水準を維持することも大変ですから、経験は中央図書館の職員は積んでいますが、なかなか広がらない状況もあります。</p> <p>あと、栗橋の委員さんをご存知でしょうか、栗橋には小学校が統廃合をした関係で、3校しかありません。菖蒲は5校になります。今の実態を申し上げますと、各学年に最低年1回は伺っています。単純に考えますと1校で6学年ありますので、3校あっても18コマ使うわけです。久喜地区では10校ありますので、それだけでも60コマになります。希望によっては、2回伺うところもありますので、70回～80回に達してしまうこともあります。これは、準備をして伺います。幸いにして中央図書館では合併前から行っており、経験の蓄積がありますので、職員も経験豊富なものがありますので、対応できますが、他の図書館では、今まで行っていなかった面もありますので、これからの課題と考えております。</p> <p>また、補足になりますが、久喜地区10校でご説明いたしましたが、今回お配りした資料には11校になっていますが、鷲宮地区で1校行なっていましたので11校になっております。その後、栗橋地区の3校が増えていますが、その後、鷲宮地区の1校が減ってしまっています。それは、ブックトークをしていた鷲宮の職員が退職をしまい、終わってしまった経過があるようです。そのくらいブックトークは難しい面があることをご理解いただきたいと思います。</p>
奈良委員	<p>補足なんですけど、私は、ボランティアの方は主ではなくて、職員さんの補助としての形を考えて話をしました。栗橋は正規職員が2名ですよね。2名で行っているところです。それなので、厳しいところは補助を付けて行ったらと考えました。また、異動ですが、栗橋でもベテランの職員が異動してしまうと厳しくなると思います。</p>
議長(会長)	<p>中央から栗橋に回すことは難しいのですか。</p>
事務局（太田中央館長）	<p>やり方は、検討していきたいと思います。とにかく行うことが重要と考えています。ただし、中央図書館の職員を派遣することは、もう中央図書館の部分でいっぱいになっているので、ご理解いただければと思います。ただし、やり方はあると思っています。広げて行かないと目標値に達していきませんので。がんばって行きたいと思っています。</p>
事務局（須賀菖蒲図書館長）	<p>先ほど、飯田係長から説明がありましたが、菖蒲図書館では館内でブックトークを行っています。合併前までは、永年の経験を積んだボランティアさんに学校訪問をお願いしていた面が強かったようです。合併してからは、図書館サービス基本計画のなかでも、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受けて、図書館が学校と緊密に連携を取ることを求めていますので、図書館自身が学校訪問に出なければいけないという認識のもとに、菖蒲図書館の職員は、館内で各種の勉強をしながら中央図書館のように訪問に出られるよう研修等を受けているところです。</p> <p>永年、学校に訪問していただいているボランティアさんに実情をお聞きしたところ、朝読書に行って、語りを聞かせることがメインとのこと。授業を何かのテーマをいただいて行うのではなく、1時間の1コマをもらいボランティアさんたちが自分たちでテーマを考えて、お話や絵本の読み聞かせを行っているようで、図書館が考えているものと趣旨が違うものと考えております。そのため、図書館がサービス基本計画に基づいて進めたい意向を話しながら、お手伝いいただきながら、今後、学校訪問を実施できるようにしていきたいと考えております。よろしくお願いたします。</p>
議長(会長)	<p>ありがとうございます。本来はどうなのでしょう。授業へのアプローチみたいなのところからスタートしたのではないのでしょうか。</p>

事務局（河内鷺宮図書館長）	<p>よろしいでしょうか。中央図書館が合併する前、久喜市立図書館だった時代から、毎年1校ずつ増やしていこうと行ってきたものです。</p> <p>一番最初に始めましたのが、平成7年か8年になっています。学校の図書主任の先生と移動図書館で回っている時に、江面第二小学校から話をいただきました。移動図書館が回るときにブックトークをしてほしいとのことで、学校からの依頼です。江面第二小学校で年に1回、その後翌年度には久喜小学校の低学年向けで行ってほしいとのことで毎年学校と話をしながら1校ずつ増やしてきました、合併までに市内の10校に年1回もしくは2回各学年に行っております。</p> <p>まずは、学校との連携から始まりまして、団体の貸出し、ブックトーク、ブックトークのテーマにつきましても、新しい本を中心とか学校の先生と調整をしながら、テーマを決めてきた経過がございます。やはり、学校との信頼関係で授業時間をいただくこととなりますので、中央図書館におきましては、我々図書館の自主事業としてやっていくことが図書館におけるブックトーク、学校との連携だと考えております。</p>
議長(会長)	わかりました。塚越委員、これは非常に効果があるものですか。
塚越委員	そうですね。ブックトークにしる語りだけでも子どもたちが本に親しみ、さらにテーマで行っていくと違うテーマの本も自分たちで探してみようという意欲につながり、ありがたいことだと思っています。
議長(会長)	今、お話がありましたように、またよく考えていきましょう。ありがとうございます。他にございますでしょうか。
及川委員	<p>参考までにお聞きしたいのですが、まず、基本目標のレファレンスですが、利用の年齢層はどこが多いのかということが一点目、二点目は、レファレンスの内容でどのようなことが多いのかという傾向があれば、教えていただきたい。次は、基本目標5ですが、四力月児健診時にブックスタートなどを行っているとのことでしたが、その後利用者も増えるようにしているとのことで利用促進の活動はどのようなことをしているのかを教えてください。</p>
議長(会長)	事務局、いかがでしょうか。
事務局（飯田中央奉仕係長）	<p>はい。最初の質問の年齢につきましては、年齢と調査結果の掛けあわせのクロス集計ができておりません。どのような質問の傾向があるかとのことについては、年輩の方ですと、書名や内容があいまいであったりするところから、相談者と話をしながら、資料にたどりつくような質問がかなり占めております。また、法律関係で手続きを進めるにあたり、どのような書面が必要かといった質問に資料をもとに回答したり、農業に従事されている方や趣味にされている方から野菜のえぐみの原因はなんだろうかとの具体的な質問もあつたりします。また、こういった生活に密着した質問があります。</p> <p>子どもであれば、感覚的に怖い本がありますとか、夏休みになると自由研究の相談が増えます。自由研究については、どのようなことを調べたいのかといったところから相談にのることもあります。</p> <p>次のブックスタートからの利用促進についてですが、ブックスタートでいつも紹介していることが、図書館の案内についてですが、どのようなサービスをしているかやおはなし会を行っている曜日、どのような内容で行っているかなどを写真を使って説明しています。また手遊びなども行っていますので、それを覚えて帰れば、自宅でもできることを紹介しています。また、ブックスタートは、一冊目の本を渡す事業ですが、その本で終わらないように子ども向けの本のリストを配付したり、図書館に来れば子ども向けのコーナーがあることなどを紹介しています。以上になります。</p>
事務局（太田中央館長）	それでは、少し補足をいたします。先ほど年齢の関係、クロス集計まではとっておりませんでした。一応参考にアンケート結果の裏面にアンケートの年齢層の全体像が出ております。このように回答をいただきました。この中で一番上の総計のところを見ていただきたいのですが、今回のアンケートをとった特徴は、主に窓口ですが、この色別で見ただいてわかるとおり、真ん中辺りが50%ですが、鷺宮図書館は約50%が比較的年齢層が高い50歳代以上の方が多いかと思われの中で回答を得たとご理解をいただきたいと思っております。若い方は少し少なかったという状況です。宜しくお願いします。
議長(会長)	今のレファレンスの中で、司書が説明できない部分もあるかもしれませんが、例えば作物や果実のことは、農事試験場で説明をしてくれます。いろいろ丁寧に作物のなどを教えてください。それと同じく、レファレンスの中で医事とか医療とか医学とか起業とかの相談はありませんか。

事務局（飯田中央 奉仕係長）	<p>医療情報関係については、日々レファレンスがございますが、質問をすることに多少抵抗があるのではないかと考えています。そのため表示類をわかりやすく表示し、テーマごとと並べ、ご自分で探せるようしています。深刻な問題と思われるので、なかなか口にすることに抵抗がある部分ではありますが、病気の方のご家族が資料を探しにお見えになることはよくあります。</p> <p>最近、起業についても、図書館に資料があるかとの問い合わせを別の職員が受けておりますので、コンスタントに資料を探している方はいると思います。</p>
議長(会長)	<p>私は、確定申告時に税務署に確定申告の手伝いに行っています。最近若い方でインターネット起業を起す方が多いです。ホームページを作成してあげたり、相談の窓口で起業するためにはどうしたらよいかとの話が多いようです。やはり春日部や岩槻の方が多いようです。久喜の方が来るかなと思っているのですが、今のところあまりいません。他は何かございませんか。数値目標までですが。</p>
議長(会長)	これは、その後何か、もう一度説明がありますか。
事務局（飯田中央 奉仕係長）	<p>はい。続きまして、資料を一枚めくっていただけますでしょうか。平成28年度アンケート結果の概要に調査対象の属性を記載していますが、グラフに数値を入れることは、見にくくなるので、色分けをさせてもらい、分布を把握していただければと思います。</p> <p>年齢についてですが、ポイントになるのがオレンジ色の60歳代と思われます。各館それぞれ利用者が一番多くなっています。オレンジ色から右側の部分がそれ以上の方々になります。これらの中で際立っているのが鷲宮図書館です。利用者の50%以上の方が60歳以上の方々です。</p> <p>お住まいですが、各図書館がある地区の方々のご利用が一番多くなっております。もちろん市外からのご利用もございます。</p> <p>職業ですが、これは年齢とリンクしてくると思います。水色の部分が専業主婦や主夫、オレンジ色が無職・その他になっています。わりと日中に時間のある方が来館しています。それを反映しているのが、午前中の利用は多く、午後になると利用者が少なくなり、夕方になると利用者が少なくなる傾向が見られます。これは、年齢や職業に関係していると考えます。</p>
事務局（飯田中央 奉仕係長）	<p>資料を一枚めくってください。見出しにサービスの満足度について（全館まとめた数値）をお示ししております。いろいろな満足度をグラフ化したものです。赤色系は満足、ほぼ満足を表し、青色系はやや不満、不満になります。グラフでは赤色系が多いためほぼ満足をいただいていると思われます。</p> <p>では、その中でも青色の部分が多かったところでポイントをおさえてご説明いたします。まずグラフの二段目の左側、CD・DVD数の満足度ですが、他と比べて不満が多くなっています。こちらについては、利用者ニーズの把握の多様化もあると思いますが、栗橋図書室でスペースや予算の問題があって、視聴覚資料を所蔵していないということがあられるのではないかと考えられます。その右側、閲覧席数の満足度ですが、こちらについてもやや不満や不満があります。中央図書館に関して言えば、2階には自習や読書に使える読書室がございますが、他の図書館には設けられていない状況です。また中央図書館に関しても2階については、充実していますが、1階については、資料が多く閲覧席が少なくなっているのが不満につながっているのではないかと考えています。その下の段になります。インターネット蔵書検索・予約の満足度ですが、やや不満がございます。このインターネットの予約に関しては、好評をいただいておりますが、蔵書検索に関して、図書館システムやサーバーの老朽化により、スピードが遅くなってしまっており、不満の声が広がっております。こちらは今年度図書館システムの入替えにより改善される予定となっております。</p> <p>次に、下から二段目の館内利用者端末 蔵書検索満足度ですが、こちら先ほどのインターネット蔵書検索と同じことがいえると思います。</p> <p>以上ポイントとなる部分の説明をさせていただきました。おおむね満足度が高いとのことで、今現在の図書館サービス基本計画を今後も鋭意継続していくことで、図書館サービスをよりよいものにしていきたいと考えております。以上になります。</p>
事務局（太田中央館 長）	<p>よろしいでしょうか。補足になります。今、アンケート結果の棒グラフを見ていただきましたが、課題は若い方が少ないということです。これをどのようにいざなっていくか、先ほどのブックトークや学校訪問にもつながっていくと思います。ぜひとも若い方々に来てほしいと考えております。</p> <p>また、会長がおっしゃる若い方の活字離れが進んでいることと、子ども図書館をどのようにリンクさせていくかが大きな課題と考えております。</p>
奈良委員	よろしいでしょうか。
議長(会長)	はい、どうぞ。

奈良委員	このアンケートの結果を見てなのですが、年齢のところが驚宮図書館が10歳代の方が少ないと思います。どうしてかなと思います。驚宮図書館はすごくいいなと思っています。調査した期間がもしかしたら悪かったのですか。
事務局（河内驚宮図書館長）	前回、平成22年でサービス基本計画を作成するときすでに利用者の4割の方は60歳以上の結果が出ておりました。それぞれ年齢を重ねていきます。驚宮図書館は決して利用が低いわけではありません。貸出しもございませぬ。子どもの本の貸出し、おはなし会の参加者もおります。しかしそれにも増して、60歳以上の方々のご利用が多いと思われませぬ。昼間、土日、平日とアンケートをとったのですが、やはり高齢の方が多いといった状況です。現在、平日のお話会を行なっているのですが、お仕事をされているお母さんたちが多いのか、土日に行なうおはなし会の方が参加者が多いと感じています。驚宮図書館は複合施設になっています。2階の郷土資料館でボランティア講座などが行われています。その流れで1階の図書館に来て、本や雑誌をご利用になっております。今後、若い方々をどのように呼んでいくのが課題と思っております。
議長(会長)	驚宮図書館は、中高年の方々が行って、楽しみな資料が多いと思います。また、端末の電子書籍に行きがちですが、紙の文化を見直す必要があると思います。紙の文化は2千年もあって、なおかつ中世の印刷文化も5百年、今日これだけの資料がある。電算機器よりもすごいと思っています。その辺に喪失感があります。他にございませぬか。
松本委員	よろしいでしょうか。このサービス基本計画とずれてしまうかもしれないのですが、基本目標2の小中学校との連携で、学校図書館貸出し数と学校訪問事業ですが、具体的に図書館として子ども達の図書館利用促進のために学校側にどのような対応をしているのですか。それぞれの担当が変わってしまうと知らなかったことなどがあり、学校側に周知していると話がありましたがいかがでしょうか。具体的に、図書館として学校側にどのような働きかけをしたら子ども達の読書活動が推進していくのかを教えてください。
議長(会長)	事務局、いかがでしょうか。
事務局（飯田中央奉仕係長）	ブックトークもそうなのですが、制度として団体貸出しがあります。学校の先生から事前にいただいたテーマにそった本を揃え、授業で使う資料としてまとめて貸出しをして図書館として支援しています。授業で調べ学習をするときに、団体貸出しの制度を知らないと図書館への相談もできなくなってしまいます。
事務局（飯田中央奉仕係長）	先日、塚越委員がいらっしゃる研修会（先生方の連絡会）にお邪魔してきました。二年に一度研修があるようですが、その場で図書館職員が説明をする機会を作ってくださいませぬ。このような機会を捉えて、図書館の事業とか団体貸出しについての周知をしていきたいと思っています。 あとは、小学校にあがる新1年生に本を紹介するリストを渡したり、定期的に図書館だよりを送付したりして図書館の利用促進につながるようにしています。
事務局（太田中央館長）	補足になります。私も反省になりますが、毎年校長会で読書感想文の依頼をしております。そのような時間をいただいておりますので、今後については団体貸出しについても説明をしたいと思っています。三年間校長会にて読書感想文の依頼はしてきましたが、団体貸出しについては、触れておりませんでしたので、まず校長先生方に理解してもらおうと思います。
塚越委員	あと、校長会はもちろぬのこと、各学校には図書館の主任の担当がおりますので、校長が理解していて、実務的なところは主任に動いてもらっていますので、そちらの方にも4月に人が入れ替わり、集まりがありますので説明いただければ周知徹底されるかと思ひませぬ。
議長(会長)	松本委員、よろしいでしょうか。
松本委員	はい。ありがとうございました。
議長(会長)	前回、教育振興計画でシートを作成したときに、学校図書を自立しなさいということを書きました。なかなか予算がないという話になってしまいます。地域によって学校図書を自立するというところで司書を置いたりしているところもあるのでしょうか。松本委員、いかがでしょうか。

松本委員	そうですね。あまり関係ないのですが、子ども達に貸出しカードは何歳からつくれるのでしょうか。
事務局（太田中央館長）	年齢制限はありません。
松本委員	そうですね。話は別ですが、小学校では必ず自転車免許っていうものをしています。4年生を対象に全員が必ず自転車実技講習をやっています。それでは、例えば3年生になったら、子ども達全員に貸出しカードを作る機会があり、その作ったカードがあれば本を借りてみようかなと思うこともあるのかなと感じます。自転車が学校現場であるので、図書館も2分の1成人式を4年生のときに行うので、あわせてカードを作ることも一つの方法かなと思います。それがどの程度利用されるかは不明ですが、持っていればいいかなと思います。
事務局（飯田中央奉仕係長）	年に何度か図書館見学の希望が小学校からありますが、今年度その中の1校ですが、来館する子どものカードを全員分作成してほしいと希望がありました。このような機会を捉えて登録することはあります。 ただし、ご来館いただき、図書館の趣旨などを説明し、利用券を渡したいと考えておりますので、配ってしまうとそれで終わりのような感じもありますが、松本委員がおっしゃるとおり、持っていれば使うという考え方もそのとおりだと思いますので、機会を捉えて大勢の方につくっていただけるようにと思います。 また、先ほど説明し忘れてしまいましたが、読書通帳も実施しております。平成27年度が初年度だったのですが読書の動機付けとして読書通帳の配付をしているポスターを作成して、学校へ周知しているところです。
議長(会長)	ありがとうございました。奈良委員どうぞ。
奈良委員	各地区で行っていると思うのですが、4ヶ月検診のときにお母さん方には、カードは0歳から作れますとお話をしています。子どもだけでなく、お母さんたちも子どもが小さいときからカードが作れると認識してくれる活動はしているのでしょうか。
事務局（飯田中央奉仕係長）	4か月健診のときに、図書館の利用案内をしています。そのときに何歳からでもカードの作成ができますと説明をさせてもらっています。以上になります。
議長(会長)	貴重なご意見ありがとうございました。ここまでの説明はいかがでしょうか。アンケートから数値目標等ご審議いただきました。ありがとうございました。 それでは、肝心なことなのですが、サービス基本計画が平成24年度から平成28年度までの5か年が終わるわけです。本来であればこれを新しく計画を練り直すわけですが、今話がありましたとおり、子ども図書館ができることなのでこれらを盛り込んだ上で、作成したいとのことで28年から今のところはペンディングな格好になっておりますが、このことについては、ご認識いただけたでしょうか。よろしいでしょうか。一応、子ども図書館ができた段階で基本計画を作成するというに、皆様でご理解ご認識いただけましたでしょうか。よろしいでしょうか。
及川委員	すみません。よろしいでしょうか。
議長(会長)	はいどうぞ。
及川委員	2年間延長することはわかりました。目標値はどのようになるのでしょうか。基本計画の目標値は28年度までですが、その後は継続といったようになりますか。
事務局（太田中央館長）	一応、今のところ29年度の目標値として出しておりますが、目標値はあくまで来年度になりますが、久喜市教育振興基本計画があります。

及川委員	久喜市図書館サービス基本計画の目標値について質問をしているのですが。
事務局（太田中央館長）	<p>そちらの上位計画として、教育振興基本計画がございましてそちらに記載されている29年度の目標値がございまして、そちらを含めまして、さらにその上位計画として久喜市総合振興計画がございまして、そちらですと34年度までの目標値が載っています。ただ、これについては、それぞれ項目が重なっているところもございまして、総合振興計画になると図書館については、人口一人当たりの図書の貸出し冊数となっておりますので、目標値としての一番重要な部分のみをあげております。それらの数値をにらみながら、目標値の設定をしていきたいと考えていますので、現段階では、教育振興基本計画を策定しているところなので、29年度の目標値をスライドして考えていきたいと思っております。もちろんサービス基本計画の見直しの期間は前倒しになりますので、少し先延ばしになりますが、ご審議いただくのは少し前になると思っておりますので、そこで目標値の検討もいただければと思っております。</p> <p>今の目標値は、とりあえずこのまま行きたいと考えております。ご理解いただければと思っております。</p>
及川委員	平成29年度はこのままの目標値で、参考になるのが、教育振興基本計画や総合振興計画になるのですね。
事務局（太田中央館長）	はい、そうです。ご理解いただければと思っております。
議長(会長)	他にございましてでしょうか。
委員	特に意見なし。
議長(会長)	それでは、(1)の久喜市図書館サービス基本計画については、2年間延長するというところでよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
議長(会長)	続きまして、(2)の議題でございまして。平成28年度事業経過報告について事務局から説明をお願いします。
事務局（森岡中央管理係長）	事前に郵送した資料（平成28年度事業中間報告について）に基づき説明。
議長(会長)	ただ今、事務局から28年度中間報告がございました。質問をお受けいたします。何かございますか。
議長(会長)	鷲宮図書館では、少なくなっているようですが。
事務局（河内鷲宮図書館長）	<p>昨年は、鷲宮図書館では40%増の貸出しがございました。ピークがきたときには波が来るようで、貸出し冊数が1万5千冊ほど減少しております。しかしながら、子ども達に来館してもらうために昨年も行いましたが、鷲宮幼稚園の社会体験を受け入れております。園児に図書を借りてもらって体験を年中と年長さんに合計3回ほどやらせていただきました。一月に1回先日終了いたしました。そのときに、資料の7ページ、定例主催事業に記載させていただきまして、120人の園児さんたちに来ていただきまして、公共施設利用体験として貸出しの体験、自分で本を書棚に行って選ぶ体験、最終的に自分で借りて行く体験になります。その際に読書通帳のちらしを全員に渡し、希望者は保護者といっしょに来館していただくように周知しました。</p> <p>鷲宮図書館は、外に出て行くことがなかなか難しいので、来館していただき、そこで本の紹介をしております。それで昨年40%増の貸出しになりましたが、少しでも今年度、多くの貸出しができるように努めているところでございます。</p>

議長(会長)	ありがとうございました。奈良委員どうぞ。
奈良委員	先ほどの7ページの定例主催の事業を見まして、自分もボランティアをしているので興味があったのですが、鷺宮さんではたくさんのおはなし会を行っていますがこのおはなし会の団体は皆違うのでしょうか。
事務局(河内鷺宮図書館長)	はい、まず「たのしいおはなし会」は、たのしいおはなし会さんというグループです。「かわいいおはなし会」かわいいおはなし会さんというグループが行っています。図書館で行ってもらっています。「にここおはなし会」と「あかちゃんとたのしもう 絵本とわらべうたの会」は、職員が行っております。「あかちゃんとたのしもう 絵本とわらべうたの会」は昨年、三月に一度実施しております、ブックスタートに参加されたお母さんからあかちゃんといっしょに参加ができるおはなし会があればいいなどの話がありましたので、職員が行っております。わらべうたが、生活の中で朝起きて夜寝るまでの間に使えるように、顔を洗うときのわらべうたやおむつ交換のときに使うわらべうたなどが実践できるように講習会のようなもので今年度は4回開催する予定であります。このように、「たのしいおはなし会」と「かわいいおはなし会」はそれぞれボランティア団体に行っていたら、「にここおはなし会」と「あかちゃんとたのしもう 絵本とわらべうたの会」は職員が行っております。
奈良委員	わかりました。先程のアンケート結果でも10歳代が少ないと感じていたのですが、こちらのおはなし会も27年度と28年度を比べると減っています。ありがたいことに栗橋図書室では、増えております。そのため、どうしてかなと気になりました。あと、そのボランティア団体は読み聞かせなどの講座を受けた方々が行っているのでしょうか。
事務局(河内鷺宮図書館長)	鷺宮図書館でおはなし会を行っている団体になりまして、やはり読み聞かせの講座を受けて行っていただいております。かわいいおはなし会さんですが、今回回数が減ってしまっております。これは、昨年度鷺宮図書館だけではなく、平日は東コミュニティーセンターで行っておりますが、建物の改修時期に重なり改修の時期でも参加できるように鷺宮図書館で行った経過がありますので、減ってしまった経過がございます。また、たのしいおはなし会も減ってしまっておりますが、ボランティアさんの再編を行いまして、第1、第2、第3土曜日に行っていましたおはなし会をボランティアさんの高齢化や都合により再編し、第1、第3の土曜日に実施するようにしたため、減ってしまっております。
議長(会長)	ありがとうございます。他にございますか。よろしいでしょうか。
	特に意見なし。
議長(会長)	それでは、(3)のその他に移ります。事務局から何か説明がございますか。
事務局(太田中央館長)	今回は特にございません。
議長(会長)	はい、ありがとうございました。
奈良委員	よろしいでしょうか。その他でお聞きしたいことがあるのですが、まだ先のことで、東京理科大学の跡地に子ども図書館について会議の最初の方に伺いましたが、委員としては子ども図書館の設立にあたりましてどこまでといいますか、例えば以前、図書館に指定管理導入の話があったときには、見学に行ったりとかがあったのでお聞きいたします。
議長(会長)	館長、いかがでしょうか。

事務局（太田中央館長）	<p>先程も触れたところですが、サービス基本計画策定延期の大きな理由として子ども図書館が建設されることがございます。今、コンセプトや概念については内部で検討中でありまして、ある程度の方向性が出た段階で、ご意見を頂戴したいと思っております。ただ、現段階で諮問するかは明言できません。ともかく基本コンセプトができ、何らかの形で図書館協議会には提示させていただければと考えております。</p>
議長(会長)	<p>教育部長から何かございますか。</p>
関根教育部長	<p>はい。ただいまご意見をいただきました図書館協議会の皆様に今後、子ども図書館のコンセプトで今、理科大学の活用について検討を始めたところでございます。東京理科大学の跡地ということで、去年の夏に話が持ち上がりまして、全体的には教育・子育ての分野に力を入れたいと考え、今年の12月をもちまして、教育委員会全体ですが、菖蒲総合支所から東京理科大学跡地に移転になります。そして、教育委員会が移転することが第1段階になります。そして東京理科大学の図書室であったところを子ども図書館ということで計画をしております。その計画につきましては、少し時間がかかりまして、平成32年ごろのオープンというスケジュールで予定しております。</p> <p>今後、いろいろな形で計画を進めていく上で、設計につきましても平成29年度から関わっていきたいと考えております。実施計画になるかまだわかりませんが、これから作っていく段階になりますので、この事務方でも内容につきまして、少しでも夢を持った形にできればいいかなと基本構想的なものを練っているところでございます。</p> <p>そのようなことからいろいろな検討段階でございますので、少し整理をさせていただいて、図書館協議会に提案させていただきたいと考えているところでございます。どうぞ宜しくお願いいたします。</p>
議長(会長)	<p>これらの生涯学習センターのような、正式名称はまだ決まっていないのでしょうか。</p>
関根教育部長	<p>はい。基本コンセプトとして子ども図書館であったり、生涯学習センターであったりということで、名称的なものはまだ決まっておりません。条例の中にも設けていかなければなりませんので、そのご協議もさせていただきたいと考えております。</p>
議長(会長)	<p>はい、わかりました。今のところはこちらとして何もすることは無いということです。何せ突然沸いてきた話ですから。</p> <p>他にございませんか。事務局で伝え忘れがありますでしょうか。</p>
事務局（太田中央館長）	<p>ございません。</p>
議長(会長)	<p>特にないようであれば、これで議長の職を終わらせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。</p>
司会（太田館長）	<p>大変ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして、副会長であります及川委員から、ごあいさつをお願いいたします。</p>
及川委員（副会長）	<p>それでは、本日、久喜市図書館サービス基本計画についてと平成28年度事業経過報告が事務局からございました。ありがとうございました。</p> <p>課題等はございますけれどもそれを反省し、また振り返っていただき、来年度の事業への継続となりましたので、来年度にまた活かさせていただければと思います。皆様本日は、誠にありがとうございました。</p>
司会（太田館長）	<p>ありがとうございました。以上で久喜市立図書館協議会を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。</p>
	<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。</p> <p>平成29年 3月 6日</p> <p style="text-align: right;">久喜市立図書館協議会 会 長 塩 崎 勲</p>